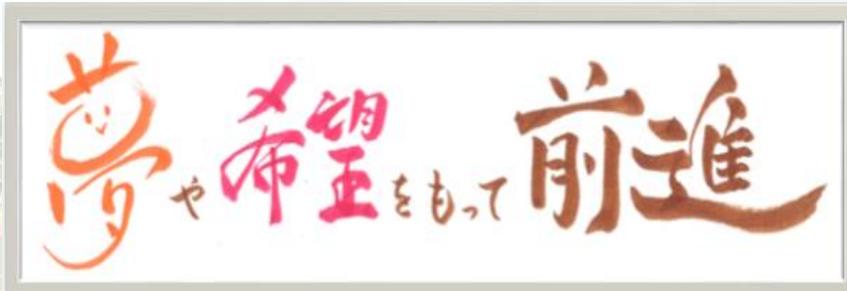


泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより

Thai Japanese Association School



令和6年

第6号

<https://www.tjas.ac.th>

小学部職員室

02-319-5457

中学部職員室

02-314-7335

進路選択の先にある、将来を見つめて

進路指導主任 亀井貴洋

2学期に入り、中学部棟では合唱祭に向けての練習が始まり、生徒達の歌声が響き渡るようになりました。小学部棟では、中休みや昼休みに、グラウンドや中庭から児童達の元気に遊ぶ姿が見られるようになりました。新しく迎えた仲間とともに、子どもたち一人ひとりが成長できる2学期となることを願っています。

2学期は、バンコク日本人学校の最高学年である多くの9年生にとって、初めての大きな選択となる、進路選択が控えています。その時に、「これから続く道を想像し、生徒自身がやりたいことや、挑戦したいこと、得意なことを生かせる路を考え、判断し、夢や希望をもって選択できるかどうか」がとても大切です。そして、これらの力を養うのが9年間の義務教育の期間であり、本校でもこれらの力を養うことができるよう“キャリア教育”に取り組んでいます。大まかなキャリア教育の流れは、裏面の図のようになります。キャリアや進路という言葉を知ると、どうしても中学校や高等学校の受験を思い浮かべますが、小学校の時から積み重ねられているものでもあり、大人になっても続くものなのです。

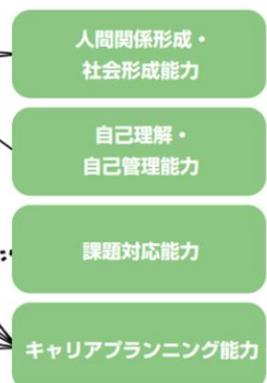
キャリア教育の定義は、「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通じて、キャリア発達を促す教育」とあります。ここにある必要な基盤と能力は、4領域8能力で、これらが関わりあって「基礎的・汎用的能力」へとつながります。「基礎的・汎用的能力」とは社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力に含まれる要素の一つとされています。これからの進路選択をする

ときに、日々の生活で積み重ねる多くの経験が、児童生徒の進路選択の選択肢を増やし、将来を考える豊かな想像力を育み、そして自身の「進む路」を決断する糧となることだと思えます。

「キャリア発達にかかわる諸能力（例）」
(4領域8能力)

人間関係形成能力	自他の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意思決定能力	選択能力 課題解決能力

「基礎的・汎用的能力」



※図中の破線は両者の関係性が相対的に見て弱いことを示している。「計画実行能力」「課題解決能力」という「ラベル」からは「課題対応能力」と密接なつながりが連想されるが、能力の説明等までを視野におさめた場合、「4領域8能力」では、「基礎的・汎用的能力」における「課題対応能力」に相当する能力について、必ずしも前面に出されてはいなかったことが分かる。

キャリア教育は人生に関わる教育であると考えることができます。それは言い換えれば、今を生きる大人にも、意義のある深い学習となるからです。人は生きていく上で、どこかでつまずくことがあります。子どもだけではなくありません。大人だってそうです。そんな時、自分の役割を見直し、未来を見据え、自信をもって歩いていくことで、人生をより希望に満ちたものにするでしょう。キャリア教育で身につけた「基礎的・汎用的能力」が大いに役立つことだと思います。

本校の進路指導目標は『児童生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもち、自らの意思と責任で主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けることができるよう、学校全体の教育活動を通して組織的・継続的な指導と援助を行う』です。この目標を達成できるよう、保護者の皆様と協力しながら日々の教育活動に励んでまいります。2学期もどうぞ、よろしくお願いいたします。

【 進路を見据えた、キャリア教育の大まかな流れ 】

